

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

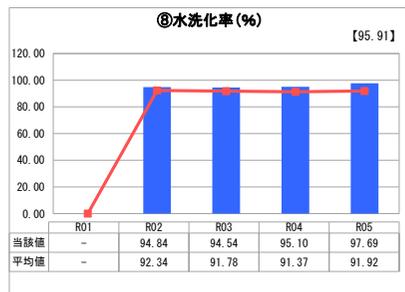
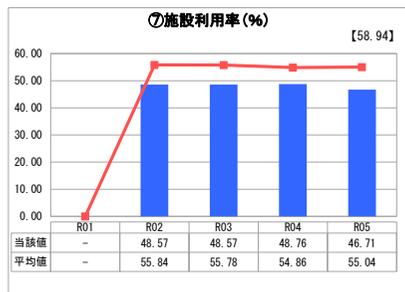
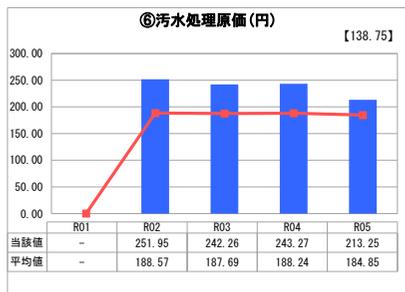
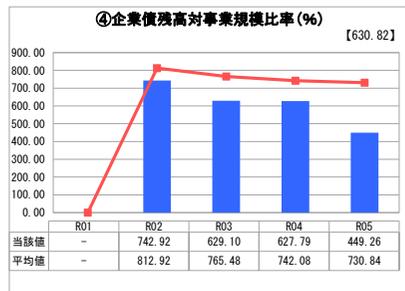
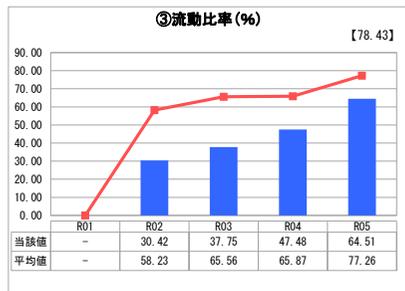
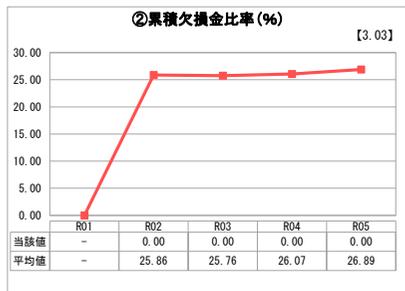
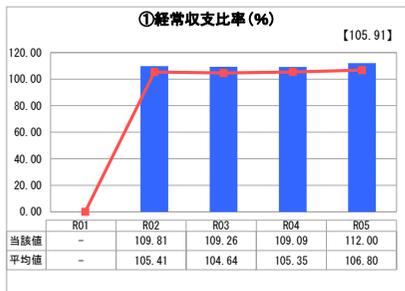
北海道 白老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	70.18	88.11	82.22	4,422

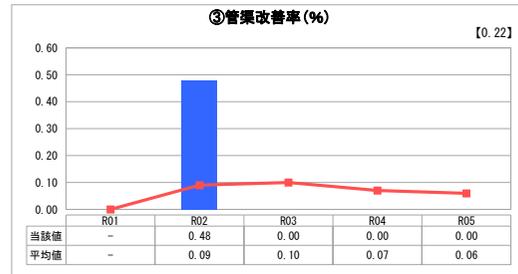
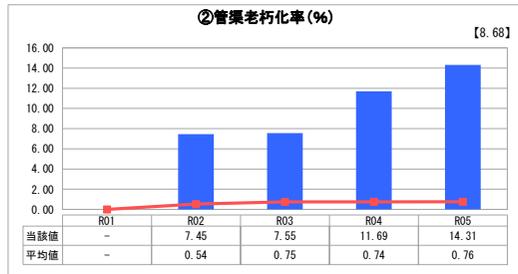
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,451	425.63	36.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,480	7.71	1,748.38

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 昨年度から微増となり、経常収支比率100%を超えていることから、経営の健全性は確保されている。
- ② 黒字決算のため計上されない。
- ③ 平均値を下回るものの、改善がみられた。
- ④ 企業債償還のピークを越え、更に繰上償還を実施したことから大きく改善された。
- ⑤ 業務用料金を中心に下水道使用料収入が堅調であり、昨年度よりさらに数値が向上した。
- ⑥ 汚水処理費を縮減したことにより改善がみられたものの依然として類似団体の平均値を上回っていることから、引き続き維持管理費の抑制に努めるなど改善を要する。
- ⑦ ほぼ横ばいで推移しており、施設がやや過大なスペックとなっているため、次期改修時に検討を要する。
- ⑧ 100%には満たないものの、普及拡大はおおむね終了している。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 現状では類似団体平均を下回り低い水準を保っているものの、上昇傾向であり今後も上昇が予想される。今後も老朽化に留意しつつ適切な事業執行に努める必要がある。
- ② ・③ 下水道事業ストックマネジメント計画等にに基づき改善に努めたい。

## 全体総括

下水道使用料収入が堅調であり令和5年度決算も黒字となった一方、老朽化対策や施設の規模見直し等が課題となっているため、より計画的な事業執行に努めていきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。